

平成30年10月4日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター
農業試験場 総合研究部
病虫害防除室
直通：257-6972

平成30年度病虫害発生予報第7号について

今後、発生が予想される大麦、果樹、野菜・花きの病虫害の発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 10月上旬～10月下旬

2 予報内容

(1) 大麦

オオムギ雲形病の発生は**少**と予想される。種子の消毒を実施する。

(2) 果樹

カキ炭疽病の発生は**多**と予想される。降雨前後の薬剤防除、および罹病した果実の処分を徹底する。

(3) 野菜・花き

軟腐病の発生は**多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する

トマト灰色かび病の発生は**多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

トマト葉かび病の発生は**やや多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

オオタバコガの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。